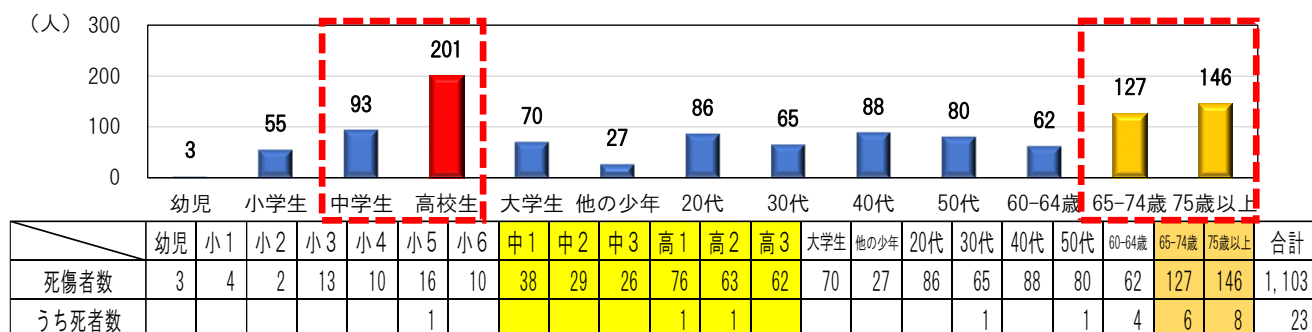


自転車乗用中に死傷した交通事故の分析結果について ～過去10年間（平成27年から令和6年）の分析～

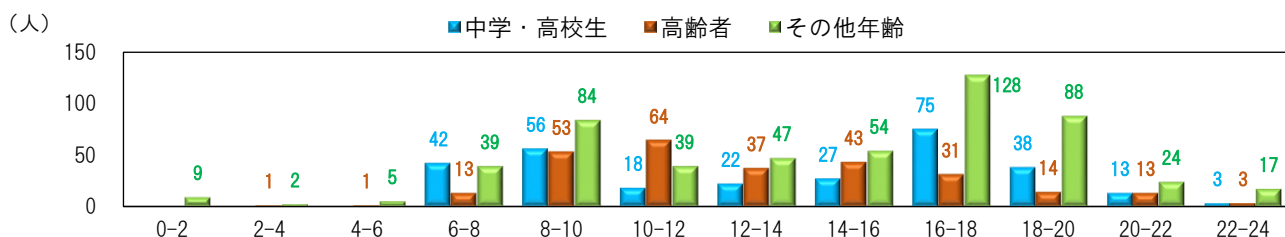
1 学齢別・年代別の死傷者数



- 過去10年間で、自転車乗用中の交通事故による死傷者数は1,103人、うち23人が亡くなった。
- 高校生の死傷者数が201人と最も多く、中学・高校生が294人と全死傷者の26.7%を占める。
- 死者23人中、65歳以上の高齢者が14人（60.9%）、うち75歳以上は8人（34.8%）と高齢になるにつれ、死者数が増加している。

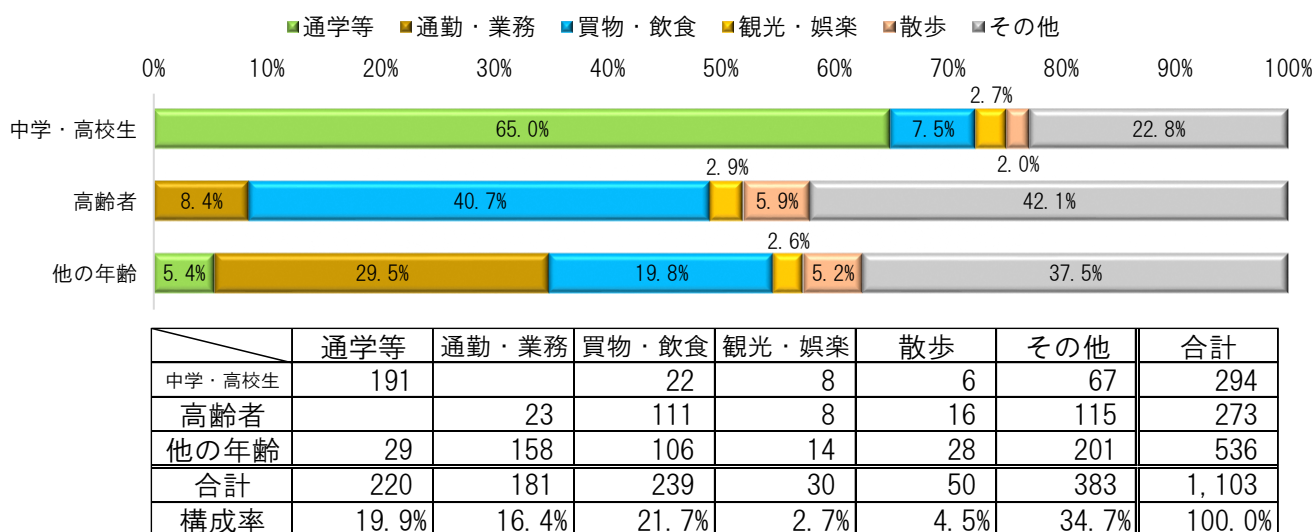
2 中学・高校生と高齢者の自転車乗用中交通事故の特徴

(1) 時間帯別死傷者数



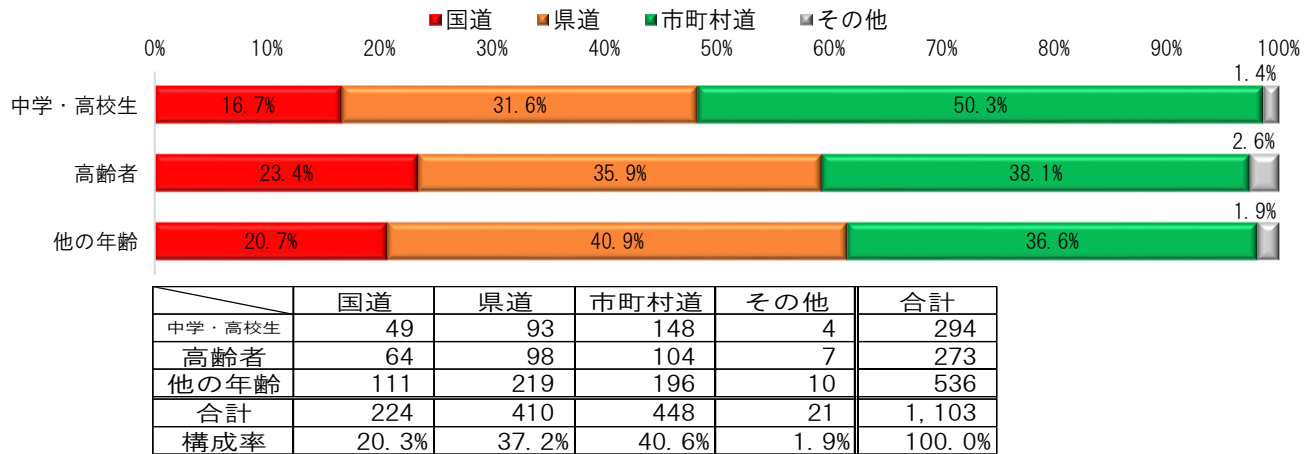
- 中学・高校生は16時から18時までの間が75人（25.5%）と最多で、次いで8時から10時までの間が56人（19.0%）と、登下校時間帯の被害が多い。
- 高齢者は、10時から12時までの間が64人（23.4%）と最多で、8時から12時までの間に117人と全高齢者の42.9%を占める。

(2) 通行目的別死傷者数



- 中学・高校生は、通学中（登下校等）が191人（65.0%）と最多
- 高齢者は、買物・飲食が111人（40.7%）と最多

(3) 路線別死傷者割合

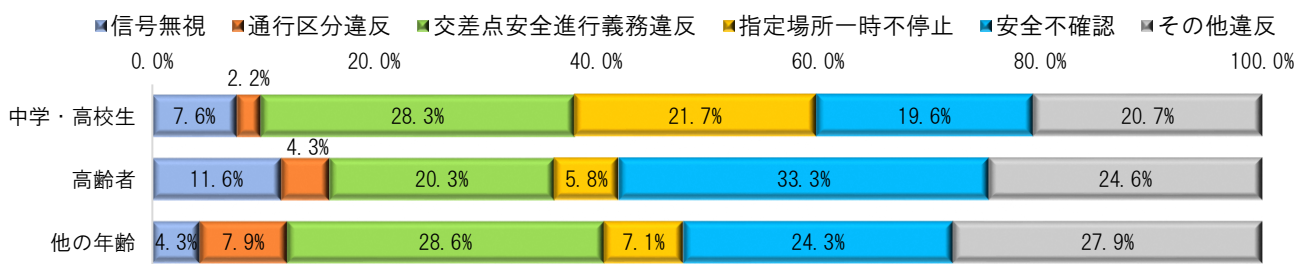


○ 中学・高校生は、市町村道が148人（50.3%）と半数以上を占める。

(4) 法令違反別死傷者数

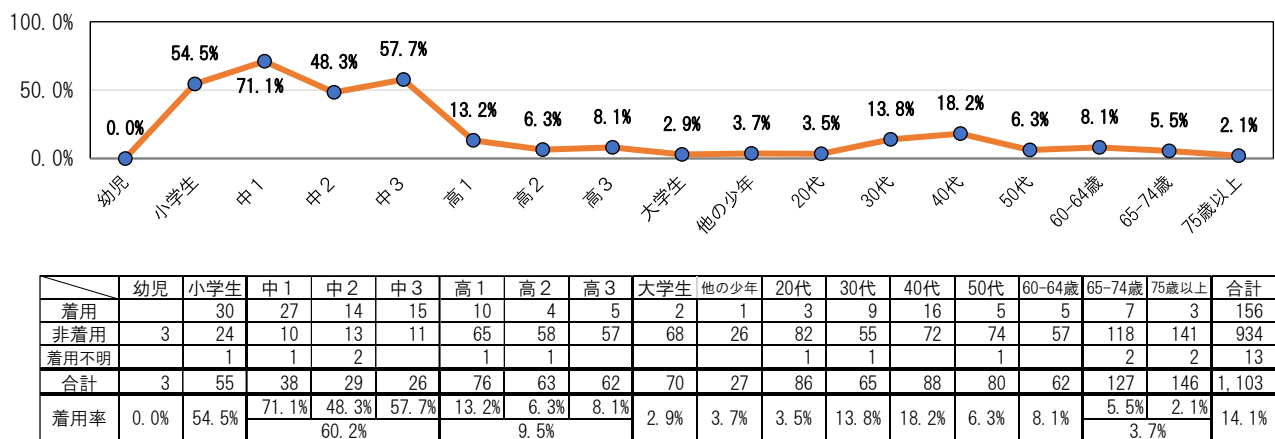
	信号無視	通行区分違反	交差点安全進行義務違反	指定場所一時不停止	安全運転義務違反				その他違反	違反あり合計	違反なし	合計
					安全不確認	前方不注意	動静不注意	その他				
中学・高校生	7	2	26	20	18	2	3	6	8	92	202	294
高齢者	8	3	14	4	23	0	3	8	6	69	204	273
他の年齢	6	11	40	10	34	1	7	14	17	140	396	536
合計	21	16	80	34	75	3	13	28	31	301	802	1,103

【違反ありに占める各違反の割合】



- 中学・高校生の死傷者92人（31.3%）に何らかの法令違反があり、特に、指定場所一時不停止の違反割合が、高齢者の約3.7倍、他の年齢の約3.1倍
- 高齢者の死傷者69人（25.3%）に何らかの法令違反があり、安全不確認の違反割合が高い。（※ グラフ内の「その他違反」には安全不確認を除く安全運転義務違反を含む。）

(5) 学齢別・年代別の自転車乗用中死傷者のヘルメット着用率



- 自転車乗用中の死傷者のヘルメット着用率は14.1%
- 高校生の着用率は9.5%と、中学生の着用率（60.2%）と比較して低い。
- 高齢者の着用率は3.7%で、うち75歳以上の着用率は2.1%と幼児を除き最も着用率が低い。